

様式第2号の1－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1－①を用いること。

学校名	大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
設置者名	学校法人塚本学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
芸術専門課程	総合デザイン学科 グラフィックデザインコース(3 年制)	夜・通信	240 時間	240 時間	
	総合デザイン学科 デジタルデザインコース(3 年制)		240 時間		
	総合デザイン学科 イラストレーションコース(3 年制)		240 時間		
	総合デザイン学科 プロダクトデザインコース(3 年制)		240 時間		
	総合デザイン学科 インテリアデザインコース(3 年制)		240 時間		
	コミック・アート学科 マンガコース(2 年制)	夜・通信	180 時間	160 時間	
	コミック・アート学科 コミックイラストコース(2 年制)		180 時間		
	コミック・アート学科 アニメコース(2 年制)		180 時間		
	コミック・アート学科 フィギュアコース(2 年制)		180 時間		
	コミック・アート学科 美術・工芸コース(2 年制)		180 時間		
(備考) 芸術研究科は 2013 年度より学生募集を停止しており、申請対象外である。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上で公表

<https://www.bisen.ac.jp/press-release/jitsumukeikennoarukyouuin-2/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
設置者名	学校法人塚本学院

1. 理事(役員)名簿の公表方法

ホームページ上で公表

<https://www.osaka-geidai.ac.jp/geidai/guide/financial/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	私立幼稚園理事 (2003.4.1～)	平成 21 年 3 月 30 日～ 令和 11 年度定時評議員会 終結の時まで	総務担当
非常勤	私立大学団体理事 (2015.4.1～)	令和元年 12 月 1 日～ 令和 11 年度定時評議員会 終結の時まで	法務担当
(備考)			

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
設置者名	学校法人塚本学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全ての授業科目について、授業目的と到達目標、授業概要、授業計画、成績評価方法・基準、受講上の注意、教員実務経験、教科書、参考書・参考文献、特記事項を記載した統一様式の授業計画書(シラバス)を設定し、ホームページ上で公表している。 毎年1月上旬に事務局より、次年度の授業を担当する全教員に対して、書面でWebシラバスの作成(シラバス閲覧サイトにおける担当科目の授業計画の入力)を依頼しており、事務局での記載内容の確認を経て、4月上旬のガイダンス実施日にシラバスを公開している。	
授業計画書の公表方法	https://www.bisen.ac.jp/press-release/syllabus-bisen2024/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修成果の評価(単位の授与)については、本校の履修規程第17条において、次のとおり定めている。 第17条 各受講科目について、所定授業日数の80%以上を出席し、かつ、試験、作品提出、レポート等で60点以上の評価を得た者を合格とし、合格科目に対しては、その修了を認め、所定の単位を与える。 2. 前項の要件を備えても、各受講科目が所定授業数に満たない場合には、補習等を受けなければならないことがある。 学修成果の評価、単位認定の方法を定めた学則及び諸規程は、学生便覧に収録・掲載して、生徒、教員に配付しており、入学時の事務局ガイダンスにおいても、成績評価や単位の授与について説明を行っている。 教員は各回の授業ごとに、出席簿により、生徒の出席状況の確認、事務局への報告を行っており、欠席が著しい生徒に対しては、教員または事務局から連絡を取って学修意欲の確認・把握に努めている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
成績評価については、学則の第 36 条～第 38 条において、次のとおり規定している。	
第 36 条 前、後期の学期末には、履修科目の試験を行う。ただし、平常成績をもって試験に代えることを認められた授業科目についてはこの限りではない。	
第 37 条 試験の方法は、筆記試験、又は実技とする。ただし、授業科目によってはレポート提出をもって筆記、又は実技に代えることができる。	
第 38 条 試験の成績は 100 点をもって満点とし、60 点以上をもって合格とする。その評点は次のとおりとする。	
100 点～80 点	優
79 点～70 点	良
69 点～60 点	可
59 点以下	不可
第38条の2 第2項 本校は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性を確保するため、生徒に対しその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行う。	
成績評価基準については履修規程第18条2項に以下のように定めている。	
優:学修成果が高く認められ優れた成績を修めている。 良:学修成果が認められ良好な成績を修めている。 可:学修成果が認められ最低限の基準を満たした成績を修めている。 不可:学修成果が認められず最低限の基準を満たしていない成績である。	
前・後期の学期末ごとに履修科目の試験を実施し、試験の成績(100 点法による素点)から算出される生徒個々の平均点により、成績の分布状況(順位)を把握している。	
学科・コースごとにカリキュラムが設定されており、コースによって修得単位数、平均点に差が生じるため、コースごとの平均点を客観的指標としている。	
学期末の試験結果は、保証人並びに生徒本人の連名で成績表として発送・通知している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	要望があれば事務局受付に設置している学生便覧の閲覧が可能。在校生には入学時に学生便覧を配付している。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
卒業の認定については、学則第 30 条において次のとおり定めている。	
第 30 条 第 13 条第 1 項に定める卒業要件※を満たした者は、教員会の議を経て、校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。	
※第 13 条 総合デザイン学科は 3 年以上、コミック・アート学科は 2 年以上在学し、 別表 1 に定められた教育課程を第 14 条に定められた履修の手續に従い、 第 36 条に定められた試験等に合格しなければならない。	
また、卒業認定・称号付与方針(ディプロマ・ポリシー)について、教育理念を体现し、クリエイターとして、心身ともに健全な社会人として社会に貢献しうる能力を学修していることを求める。	
時代の新しい変化に即した機敏な対応ができ、社会が要求する新しい知識や技術を高度に身につけ、かつ卒業要件単位数を修得し、卒業制作の審査に合格した者に専門士(文化・教養専門課程)の称号を付与する。	
と定め、学生便覧やホームページ等において公表している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	要望があれば事務局受付に設置している学生便覧の閲覧が可能。在校生には入学時に学生便覧を配付している。

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

分野		課程名		学科名	専門士	高度専門士
文化・教養		芸術専門課程		総合デザイン学科 グラフィックデザインコース	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類(時間)		
				講義	演習	実習
3 年	昼	2,640 単位時間		300	1,260	1,080
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
330 人の内数		75人	2人	1人	1人	10人
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)						
(概要)						
本校の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、業界の動向や人材ニーズ、生徒の理解進度等を踏まえ、学科・コースごとにカリキュラムを編成している。						
新カリキュラムでは、科目名と授業内容がリンクしにくい科目の科目名変更の実施と、PCを使用する授業を 3 年間履修させるようにし、人材ニーズを踏まえた科目を一部新設した。グループ校の大阪芸術大学主催の海外セミナー等の参加者は、海外の学修に対して単位認定を行なう。						
年間の授業計画については、年度当初の学年暦において、祝日等により休講となる科目については、あらかじめ開講曜日を振替える等により、必要授業時間数が確保されるよう調整を行っている。また、臨時休講等が生じた場合にも必要な補習が行えるよう、前・後期それぞれに補講期間を設けている。						
成績評価の基準・方法						
(概要)						
本校学則により、成績は 100 点を満点とし、60 点以上をもって合格としている。成績評価の方法は、学期末ごとに実施する筆記試験、課題提出、レポート等によるものとする。						
卒業・進級の認定基準						
(概要)						
本校学則により、卒業については、総合デザイン学科は 3 年以上在学し、各学科所定の教育課程を修め、所定の試験に合格した者について、教員会の議を経て校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。と定めており、進級についても、履修規程において、各コースの配当年次に指定されている科目数及び単位数をすべて修得しなければ上級年次に進級できない、としている。						

学修支援等			
(概要)			
日々の学習、心身の健康、学生生活、就職支援など、各コースにコース長(専任教員)を配置し、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導・ケアを行える体制を整備している。			
生徒が入学から卒業まで安心して充実した学生生活を送れるよう、事務局と教員が一体となり、学生相談室(カウンセラー)とも連携しながらサポートを行っている。			
卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	2人 (9.1%)	12人 (54.5%)	8人 (36.4%)
(主な就職、業界等)			
(主にはデザイン業界の専門職)株式会社まるき、株式会社ダレカノデザイン 他			
(就職指導内容)			
履歴書・エントリーシート添削、面接練習等			
(主な学修成果(資格・検定等))			
色彩士検定			
(備考)(任意記載事項)			
芸術系の専門学校につき、作家(フリーランス)を志望する者も多く、企業等への「就職」に馴染まないものについては、上表の“その他”に区分している。			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における 退学者の数		中退率
74人	6人		8.1%
(中途退学の主な理由)			
経済的困窮、修学意欲低下、休学期間経過			
(中退防止・中退者支援のための取組)			
全授業科目における生徒の出席状況の確認と把握。連続欠席者に対する面談や早期指導。経済的理由によるものについては奨学金制度の活用促進等を実施している。			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養		芸術専門課程	総合デザイン学科 デジタルデザインコース	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類(時間)		
			講義	演習	実習
3 年	昼	2,730 単位時間	330	1,140	1,260
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
330 人の内数		38人	5人	1 人	0人
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要)					
本校の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、業界の動向や人材ニーズ、生徒の理解進度等を踏まえ、学科・コースごとにカリキュラムを編成している。					
新カリキュラムでは、科目名と授業内容がリンクしにくい科目の科目名変更の実施と、PCを使用する授業を 3 年間履修させるようにし、人材ニーズを踏まえた科目を一部新設した。グループ校の大阪芸術大学主催の海外セミナー等の参加者は、海外の学修に対して単位認定を行なう。					
年間の授業計画については、年度当初の学年暦において、祝日等により休講となる科目については、あらかじめ開講曜日を振替える等により、必要授業時間数が確保されるよう調整を行っている。また、臨時休講等が生じた場合にも必要な補習が行えるよう、前・後期それぞれに補講期間を設けている。					
成績評価の基準・方法					
(概要)					
本校学則により、成績は 100 点を満点とし、60 点以上をもって合格としている。成績評価の方法は、学期末ごとに実施する筆記試験、課題提出、レポート等によるものとする。					
卒業・進級の認定基準					
(概要)					
本校学則により、卒業については、総合デザイン学科は 3 年以上在学し、各学科所定の教育課程を修め、所定の試験に合格した者について、教員会の議を経て校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。と定めており、進級についても、履修規程において、各コースの配当年次に指定されている科目数及び単位数をすべて修得しなければ上級年次に進級できない、としている。					
学修支援等					
(概要)					
日々の学習、心身の健康、学生生活、就職支援など、各コースにコース長(専任教員)を配置し、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導・ケアを行える体制を整備している。					
生徒が入学から卒業まで安心して充実した学生生活を送れるよう、事務局と教員が一体となり、学生相談室(カウンセラー)とも連携しながらサポートを行っている。					
卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)					
卒業者数		進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
6人 (100%)		0人 (0%)	3人 (50%)	3人 (50%)	
(主な就職、業界等)					
(主にはデザイン業界の専門職)株式会社ジャム・デザイン、有限会社トレモア・プランニング 他					
(就職指導内容)					
履歴書・エントリーシート添削、面接練習等					

(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩士検定		
(備考)(任意記載事項) 芸術系の専門学校につき、作家(フリーランス)を志望する者も多く、企業等への「就職」に馴染まないものについては、上表の“その他”に区分している。		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における 退学者の数	中退率
36人	2人	5.6%
(中途退学の主な理由) 修学意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 全授業科目における生徒の出席状況の確認と把握。連続欠席者に対する面談や早期指導。経済的理由によるものについては奨学金制度の活用促進等を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養		芸術専門課程	総合デザイン学科 イラストレーションコース	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類(時間)		
			講義	演習	実習
3 年	昼	2,640 単位時間	240	960	1,440
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
330 人の内数		57人	8人	1 人	0人
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要)					
本校の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、業界の動向や人材ニーズ、生徒の理解進度等を踏まえ、学科・コースごとにカリキュラムを編成している。					
新カリキュラムでは、科目名と授業内容がリンクしにくい科目の科目名変更の実施と、PCを使用する授業を 3 年間履修させるようにし、人材ニーズを踏まえた科目を一部新設した。グループ校の大阪芸術大学主催の海外セミナー等の参加者は、海外の学修に対して単位認定を行なう。					
年間の授業計画については、年度当初の学年暦において、祝日等により休講となる科目については、あらかじめ開講曜日を振替える等により、必要授業時間数が確保されるよう調整を行っている。また、臨時休講等が生じた場合にも必要な補習が行えるよう、前・後期それぞれに補講期間を設けている。					
成績評価の基準・方法					
(概要)					
本校学則により、成績は 100 点を満点とし、60 点以上をもって合格としている。成績評価の方法は、学期末ごとに実施する筆記試験、課題提出、レポート等によるものとする。					
卒業・進級の認定基準					
(概要)					
本校学則により、卒業については、総合デザイン学科は3年以上在学し、各学科所定の教育課程を修め、所定の試験に合格した者について、教員会の議を経て校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。と定めており、進級についても、履修規程において、各コースの配当年次に指定されている科目数及び単位数をすべて修得しなければ上級年次に進級できない、としている。					
学修支援等					
(概要)					
日々の学習、心身の健康、学生生活、就職支援など、各コースにコース長(専任教員)を配置し、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導・ケアを行える体制を整備している。					
生徒が入学から卒業まで安心して充実した学生生活を送れるよう、事務局と教員が一体となり、学生相談室(カウンセラー)とも連携しながらサポートを行っている。					
卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)					
卒業生数		進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
18人 (100%)		0人 (0%)	7人 (38.9%)	11人 (61.1%)	
(主な就職、業界等)					
(主にはデザイン業界の専門職)株式会社トップソリューションズ 他					
(就職指導内容)					
履歴書・エントリーシート添削、面接練習等					

(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩士検定		
(備考)(任意記載事項) 芸術系の専門学校につき、作家(フリーランス)を志望する者も多く、企業等への「就職」に馴染まないものについては、上表の“その他”に区分している。		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における 退学者の数	中退率
61人	3人	4.9%
(中途退学の主な理由) 学費未納、修学意欲低下、疾病		
(中退防止・中退者支援のための取組) 全授業科目における生徒の出席状況の確認と把握。連続欠席者に対する面談や早期指導。経済的理由によるものについては奨学金制度の活用促進等を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		芸術専門課程	総合デザイン学科 プロダクトデザインコース	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類(時間)			
			講義	演習	実習	
3年	昼	2,670 単位時間	300	660	1,710	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
330 人の内数		16人	1人	1人	0人	6人
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)						
(概要)						
本校の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、業界の動向や人材ニーズ、生徒の理解進度等を踏まえ、学科・コースごとにカリキュラムを編成している。						
新カリキュラムでは、科目名と授業内容がリンクしにくい科目の科目名変更の実施と、PCを使用する授業を3年間履修させるようにし、人材ニーズを踏まえた科目を一部新設した。グループ校の大阪芸術大学主催の海外セミナー等の参加者は、海外の学修に対して単位認定を行なう。						
年間の授業計画については、年度当初の学年暦において、祝日等により休講となる科目については、あらかじめ開講曜日を振替える等により、必要授業時間数が確保されるよう調整を行っている。また、臨時休講等が生じた場合にも必要な補習が行えるよう、前・後期それぞれに補講期間を設けている。						
成績評価の基準・方法						
(概要)						
本校学則により、成績は100点を満点とし、60点以上をもって合格としている。成績評価の方法は、学期末ごとに実施する筆記試験、課題提出、レポート等によるものとする。						
卒業・進級の認定基準						
(概要)						
本校学則により、卒業については、総合デザイン学科は3年以上在学し、各学科所定の教育課程を修め、所定の試験に合格した者について、教員会の議を経て校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。と定めており、進級についても、履修規程において、各コースの配当年次に指定されている科目数及び単位数をすべて修得しなければ上級年次に進級できない、としている。						
学修支援等						
(概要)						
日々の学習、心身の健康、学生生活、就職支援など、各コースにコース長(専任教員)を配置し、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導・ケアを行える体制を整備している。						
生徒が入学から卒業まで安心して充実した学生生活を送れるよう、事務局と教員が一体となり、学生相談室(カウンセラー)とも連携しながらサポートを行っている。						
卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)						
卒業生数		進学者数		就職者数 (自営業を含む。)		その他
5人 (100%)		0人 (0%)		2人 (40%)		3人 (60%)
(主な就職、業界等)						
(主にはデザイン業界の専門職)常盤精工株式会社、株式会社山田工作所						
(就職指導内容)						
履歴書・エントリーシート添削、面接練習等						

(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩士検定		
(備考)(任意記載事項) 芸術系の専門学校につき、作家(フリーランス)を志望する者も多く、企業等への「就職」に馴染まないものについては、上表の“その他”に区分している。		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における 退学者の数	中退率
18人	2人	11.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 全授業科目における生徒の出席状況の確認と把握。連続欠席者に対する面談や早期指導。経済的理由によるものについては奨学金制度の活用促進等を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養		芸術専門課程	総合デザイン学科 インテリアデザインコース	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類(時間)		
			講義	演習	実習
3年	昼	2,650 単位時間	270	940	1,440
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
330 人の内数		13人	7人	1人	0人
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要)					
本校の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、業界の動向や人材ニーズ、生徒の理解進度等を踏まえ、学科・コースごとにカリキュラムを編成している。					
新カリキュラムでは、科目名と授業内容がリンクしにくい科目の科目名変更の実施と、PCを使用する授業を3年間履修させるようにし、人材ニーズを踏まえた科目を一部新設した。グループ校の大阪芸術大学主催の海外セミナー等の参加者は、海外の学修に対して単位認定を行なう。					
年間の授業計画については、年度当初の学年暦において、祝日等により休講となる科目については、あらかじめ開講曜日を振替える等により、必要授業時間数が確保されるよう調整を行っている。また、臨時休講等が生じた場合にも必要な補習が行えるよう、前・後期それぞれに補講期間を設けている。					
成績評価の基準・方法					
(概要)					
本校学則により、成績は100点を満点とし、60点以上をもって合格としている。成績評価の方法は、学期末ごとに実施する筆記試験、課題提出、レポート等によるものとする。					
卒業・進級の認定基準					
(概要)					
本校学則により、卒業については、総合デザイン学科は3年以上在学し、各学科所定の教育課程を修め、所定の試験に合格した者について、教員会の議を経て校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。と定めており、進級についても、履修規程において、各コースの配当年次に指定されている科目数及び単位数をすべて修得しなければ上級年次に進級できない、としている。					
学修支援等					
(概要)					
日々の学習、心身の健康、学生生活、就職支援など、各コースにコース長(専任教員)を配置し、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導・ケアを行える体制を整備している。					
生徒が入学から卒業まで安心して充実した学生生活を送れるよう、事務局と教員が一体となり、学生相談室(カウンセラー)とも連携しながらサポートを行っている。					
卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)					
卒業生数		進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
5人 (100%)		3人 (60%)	1人 (20%)	1人 (20%)	
(主な就職、業界等)					
(主にはデザイン業界の専門職)株式会社フジヤ					
(就職指導内容)					
履歴書・エントリーシート添削、面接練習等					

(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩士検定		
(備考)(任意記載事項) 芸術系の専門学校につき、作家(フリーランス)を志望する者も多く、企業等への「就職」に馴染まないものについては、上表の“その他”に区分している。		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における 退学者の数	中退率
16人	5人	31.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、修学意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 全授業科目における生徒の出席状況の確認と把握。連続欠席者に対する面談や早期指導。経済的理由によるものについては奨学金制度の活用促進等を実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
文化・教養		芸術専門課程	コミック・アート学科 マンガコース		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類(時間)		
				講義	演習	実習
2 年	昼	1,830 単位時間		90	600	1,140
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
220 人の内数		27 人	6 人	1 人	0 人	7 人
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)						
(概要)						
本校の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、業界の動向や人材ニーズ、生徒の理解進度等を踏まえ、学科・コースごとにカリキュラムを編成している。						
カリキュラムは、職業選択の幅を広げられる科目編成を主として、生徒の職業観を養成する科目を新設し、デッサン等基礎科目の充実を図っている。						
グループ校の大阪芸術大学主催の海外セミナー等の参加者は、海外の学修に対して単位認定を行なう。						
年間の授業計画については、年度当初の学年暦において、祝日等により休講となる科目については、あらかじめ開講曜日を振替える等により、必要授業時間数が確保されるよう調整を行っている。また、臨時休講等が生じた場合にも必要な補習が行えるよう、前・後期それぞれに補講期間を設けている。						
成績評価の基準・方法						
(概要)						
本校学則により、成績は 100 点を満点とし、60 点以上をもって合格としている。成績評価の方法は、学期末ごとに実施する筆記試験、課題提出、レポート等によるものとする。						
卒業・進級の認定基準						
(概要)						
本校学則により、卒業については、コミック・アート学科は 2 年以上在学し、各学科所定の教育課程を修め、所定の試験に合格した者について、教員会の議を経て校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。と定めており、進級についても、履修規程において、各コースの配当年次に指定されている科目数及び単位数をすべて修得しなければ上級年次に進級できない、としている。						
学修支援等						
(概要)						
日々の学習、心身の健康、学生生活、就職支援など、各コースにコース長(専任教員)を配置し、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導・ケアを行える体制を整備している。						
生徒が入学から卒業まで安心して充実した学生生活を送れるよう、事務局と教員が一体となり、学生相談室(カウンセラー)とも連携しながらサポートを行っている。						
卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)						
卒業者数		進学者数		就職者数 (自営業を含む。)	その他	
5 人 (100%)		2 人 (40%)		1 人 (20%)	2 人 (40%)	
(主な就職、業界等)						
(主には専門職と無関係な業界) 共栄バルブ株式会社						

(就職指導内容) 履歴書・エントリーシート添削、面接練習等		
(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩士検定		
(備考)(任意記載事項) 芸術系の専門学校につき、作家(フリーランス)を志望する者も多く、企業等への「就職」に馴染まないものについては、上表の“その他”に区分している。		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における 退学者の数	中退率
22人	2人	9.1%
(中途退学の主な理由) 修学意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 全授業科目における生徒の出席状況の確認と把握。連続欠席者に対する面談や早期指導。経済的理由によるものについては奨学金制度の活用促進等を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養		芸術専門課程	コミック・アート学科 コミックイラスト コース	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類(時間)		
			講義	演習	実習
2 年	昼	1,830 単位時間	90	600	1,140
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
220 人の内数		53人	8人	1 人	0人
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要)					
本校の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、業界の動向や人材ニーズ、生徒の理解進度等を踏まえ、学科・コースごとにカリキュラムを編成している。					
カリキュラムは、職業選択の幅を広げられる科目編成を主として、生徒の職業観を養成する科目を新設し、デッサン等基礎科目の充実を図っている。					
グループ校の大阪芸術大学主催の海外セミナー等の参加者は、海外の学修に対して単位認定を行なう。					
年間の授業計画については、年度当初の学年暦において、祝日等により休講となる科目については、あらかじめ開講曜日を振替える等により、必要授業時間数が確保されるよう調整を行っている。また、臨時休講等が生じた場合にも必要な補習が行えるよう、前・後期それぞれに補講期間を設けている。					
成績評価の基準・方法					
(概要)					
本校学則により、成績は 100 点を満点とし、60 点以上をもって合格としている。成績評価の方法は、学期末ごとに実施する筆記試験、課題提出、レポート等によるものとする。					
卒業・進級の認定基準					
(概要)					
本校学則により、卒業については、コミック・アート学科は 2 年以上在学し、各学科所定の教育課程を修め、所定の試験に合格した者について、教員会の議を経て校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。と定めており、進級についても、履修規程において、各コースの配当年次に指定されている科目数及び単位数をすべて修得しなければ上級年次に進級できない、としている。					
学修支援等					
(概要)					
日々の学習、心身の健康、学生生活、就職支援など、各コースにコース長(専任教員)を配置し、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導・ケアを行える体制を整備している。					
生徒が入学から卒業まで安心して充実した学生生活を送れるよう、事務局と教員が一体となり、学生相談室(カウンセラー)とも連携しながらサポートを行っている。					
卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)					
卒業生数		進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
25人 (100%)		2人 (8%)	9人 (36%)	14人 (56%)	
(主な就職、業界等)					
(主にはデザイン業界の専門職)株式会社GoHands、白石封筒株式会社					

(就職指導内容) 履歴書・エントリーシート添削、面接練習等		
(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩士検定		
(備考)(任意記載事項) 芸術系の専門学校につき、作家(フリーランス)を志望する者も多く、企業等への「就職」に馴染まないものについては、上表の“その他”に区分している。		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における 退学者の数	中退率
63人	9人	14.3%
(中途退学の主な理由) 疾病、進路変更、休学期間経過		
(中退防止・中退者支援のための取組) 全授業科目における生徒の出席状況の確認と把握。連続欠席者に対する面談や早期指導。経済的理由によるものについては奨学金制度の活用促進等を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		芸術専門課程	コミック・アート学科 アニメコース	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類(時間)			
			講義	演習	実習	
2 年	昼	1,830 単位時間	90	600	1,140	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
220 人の内数		32人	12人	1 人	3人	6人
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)						
(概要)						
本校の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、業界の動向や人材ニーズ、生徒の理解進度等を踏まえ、学科・コースごとにカリキュラムを編成している。						
カリキュラムは、職業選択の幅を広げられる科目編成を主として、生徒の職業観を養成する科目を新設し、デッサン等基礎科目の充実を図っている。						
グループ校の大阪芸術大学主催の海外セミナー等の参加者は、海外の学修に対して単位認定を行なう。						
年間の授業計画については、年度当初の学年暦において、祝日等により休講となる科目については、あらかじめ開講曜日を振替える等により、必要授業時間数が確保されるよう調整を行っている。また、臨時休講等が生じた場合にも必要な補習が行えるよう、前・後期それぞれに補講期間を設けている。						
成績評価の基準・方法						
(概要)						
本校学則により、成績は 100 点を満点とし、60 点以上をもって合格としている。成績評価の方法は、学期末ごとに実施する筆記試験、課題提出、レポート等によるものとする。						
卒業・進級の認定基準						
(概要)						
本校学則により、卒業については、コミック・アート学科は 2 年以上在学し、各学科所定の教育課程を修め、所定の試験に合格した者について、教員会の議を経て校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。と定めており、進級についても、履修規程において、各コースの配当年次に指定されている科目数及び単位数をすべて修得しなければ上級年次に進級できない、としている。						
学修支援等						
(概要)						
日々の学習、心身の健康、学生生活、就職支援など、各コースにコース長(専任教員)を配置し、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導・ケアを行える体制を整備している。						
生徒が入学から卒業まで安心して充実した学生生活を送れるよう、事務局と教員が一体となり、学生相談室(カウンセラー)とも連携しながらサポートを行っている。						
卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)						
卒業者数		進学者数		就職者数 (自営業を含む。)		その他
8人 (100%)		2人 (25%)		0人 (0%)		6人 (75%)
(主な就職、業界等)						
令和 6 年度就職者なし(過年度においては、有限会社 Wish)						
(主な学修成果(資格・検定等))						
色彩士検定						

(備考)(任意記載事項) 芸術系の専門学校につき、作家(フリーランス)を志望する者も多く、企業等への「就職」に馴染まないものについては、上表の“その他”に区分している。		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における 退学者の数	中退率
22人	3人	13.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、修学意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 全授業科目における生徒の出席状況の確認と把握。連続欠席者に対する面談や早期指導。経済的理由によるものについては奨学金制度の活用促進等を実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
文化・教養		芸術専門課程	コミック・アート学科 フィギュアコース		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類(時間)			
			講義	演習	実習	
2年	昼	1,830 単位時間	90	600	1,140	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
220 人の内数		20人	5人	1人	0人	6人
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)						
(概要)						
本校の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、業界の動向や人材ニーズ、生徒の理解進度等を踏まえ、学科・コースごとにカリキュラムを編成している。						
カリキュラムは、職業選択の幅を広げられる科目編成を主として、生徒の職業観を養成する科目を新設し、デッサン等基礎科目の充実を図っている。						
グループ校の大阪芸術大学主催の海外セミナー等の参加者は、海外の学修に対して単位認定を行なう。						
年間の授業計画については、年度当初の学年暦において、祝日等により休講となる科目については、あらかじめ開講曜日を振替える等により、必要授業時間数が確保されるよう調整を行っている。また、臨時休講等が生じた場合にも必要な補習が行えるよう、前・後期それぞれに補講期間を設けている。						
成績評価の基準・方法						
(概要)						
本校学則により、成績は 100 点を満点とし、60 点以上をもって合格としている。成績評価の方法は、学期末ごとに実施する筆記試験、課題提出、レポート等によるものとする。						
卒業・進級の認定基準						
(概要)						
本校学則により、卒業については、コミック・アート学科は 2 年以上在学し、各学科所定の教育課程を修め、所定の試験に合格した者について、教員会の議を経て校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。と定めており、進級についても、履修規程において、各コースの配当年次に指定されている科目数及び単位数をすべて修得しなければ上級年次に進級できない、としている。						
学修支援等						
(概要)						
日々の学習、心身の健康、学生生活、就職支援など、各コースにコース長(専任教員)を配置し、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導・ケアを行える体制を整備している。						
生徒が入学から卒業まで安心して充実した学生生活を送れるよう、事務局と教員が一体となり、学生相談室(カウンセラー)とも連携しながらサポートを行っている。						
卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)						
卒業生数		進学者数		就職者数 (自営業を含む。)	その他	
4人 (100%)		2人 (50%)		1人 (25%)	1人 (25%)	
(主な就職、業界等)						
(主にはデザイン業界の専門職) 叶丸工芸						

(就職指導内容) 履歴書・エントリーシート添削、面接練習等		
(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩士検定		
(備考)(任意記載事項) 芸術系の専門学校につき、作家(フリーランス)を志望する者も多く、企業等への「就職」に馴染まないものについては、上表の“その他”に区分している。		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における 退学者の数	中退率
18人	3人	16.7%
(中途退学の主な理由) 修学意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 全授業科目における生徒の出席状況の確認と把握。連続欠席者に対する面談や早期指導。経済的理由によるものについては奨学金制度の活用促進等を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養		芸術専門課程	コミック・アート学科 美術・工芸コース	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類(時間)		
			講義	演習	実習
2年	昼	1,740 単位時間	30	1,560	1,110
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
220 人の内数		40人	9人	4人	2人
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要)					
本校の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、業界の動向や人材ニーズ、生徒の理解進度等を踏まえ、学科・コースごとにカリキュラムを編成している。					
カリキュラムは、職業選択の幅を広げられる科目編成を主として、生徒の職業観を養成する科目を新設し、デッサン等基礎科目の充実を図っている。					
グループ校の大阪芸術大学主催の海外セミナー等の参加者は、海外の学修に対して単位認定を行なう。					
年間の授業計画については、年度当初の学年暦において、祝日等により休講となる科目については、あらかじめ開講曜日を振替える等により、必要授業時間数が確保されるよう調整を行っている。また、臨時休講等が生じた場合にも必要な補習が行えるよう、前・後期それぞれに補講期間を設けている。					
成績評価の基準・方法					
(概要)					
本校学則により、成績は 100 点を満点とし、60 点以上をもって合格としている。成績評価の方法は、学期末ごとに実施する筆記試験、課題提出、レポート等によるものとする。					
卒業・進級の認定基準					
(概要)					
本校学則により、卒業については、コミック・アート学科は 2 年以上在学し、各学科所定の教育課程を修め、所定の試験に合格した者について、教員会の議を経て校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。と定めており、進級についても、履修規程において、各コースの配当年次に指定されている科目数及び単位数をすべて修得しなければ上級年次に進級できない、としている。					
学修支援等					
(概要)					
日々の学習、心身の健康、学生生活、就職支援など、各コースにコース長(専任教員)を配置し、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導・ケアを行える体制を整備している。					
生徒が入学から卒業まで安心して充実した学生生活を送れるよう、事務局と教員が一体となり、学生相談室(カウンセラー)とも連携しながらサポートを行っている。					
卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)					
卒業者数		進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
14人 (100%)		4人 (28.6%)	4人 (28.6%)	6人 42.8(%)	
(主な就職、業界等)					
(主には専門職) たつた舞台株式会社、カネ定製陶株式会社					
(就職指導内容)					
履歴書・エントリーシート添削、面接練習等					

(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩士検定		
(備考)(任意記載事項) 芸術系の専門学校につき、作家(フリーランス)を志望する者も多く、企業等への「就職」に馴染まないものについては、上表の“その他”に区分している。		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における 退学者の数	中退率
45人	6人	13.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、修学意欲低下、疾病		
(中退防止・中退者支援のための取組) 全授業科目における生徒の出席状況の確認と把握。連続欠席者に対する面談や早期指導。経済的理由によるものについては奨学金制度の活用促進等を実施している。		

※生徒総定員は学科単位のもの（コースごとの定員は設けていない）。

※生徒実員数はコース単位のもの。

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合デザイン学科	190,000 円	740,000 円	480,000 円	施設設備費・休学在籍料
コミック・アート学科	190,000 円	740,000 円	480,000 円	施設設備費・休学在籍料
修学支援(任意記載事項)				
本校奨学規程により、新入生奨学金は入学試験において、在校生奨学金は前年の成績・人物等所定基準の評価によって採否の判定を行う。 新入生奨学金は、入学試験種別によって奨学金(支援額)が異なるが、指定校制推薦入学試験では合格者全員に対し入学金の全額免除を、AO 入学試験(Ⅰ期～Ⅲ期)では合格者全員に対し入学金の半額免除を行っており、授業料全額免除入学試験では合格者に対し授業料年額の全額、又は半額免除を行っている(各 10 名程度)。 また、在校生奨学金は、在籍する 2・3 年を対象に前年度の成績優秀者を選抜し、授業料の全額免除、又は半額免除を実施している(各 10 名程度)。家計支持者の死亡等による修学が困難な生徒を対象に 50 万円を上限に、地震・台風等の被災にあった生徒を対象に 60 万円を上限として臨時に支給している。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.bisen.ac.jp/press-release/bisen/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
本校は、より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換を通じて、自己評価の結果を評価することを目的として学校関係者評価委員会を設置し、同委員会規程により、その役割について、本校で行われた教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。と定めている。 本校自己点検評価委員会で作成した自己点検・評価報告書を基に、年 1 回学校関係者評価委員会を開催。自己点検評価による 11 項目(①教育理念・目的・育成人材像等、②学校運営、③教育活動、④教育成果、⑤学生支援、⑥教育環境、⑦学生の募集と受入れ、⑧財務、⑨法令等の遵守、⑩社会貢献、⑪国際交流)の評価について、本校の教職員以外の者※で構成する学校関係者評価委員会が審査・評価を行い、その結果を自己点検評価委員会にフィードバックすることで、学校の教育活動、自己点検評価活動の客観性を担保するとともに教育の質の向上を目指す。 ※委員会を構成する委員は、3 名以上とし本校の職員以外の者で次に掲げる者のうちから校長が委嘱する。(1)保護者 (2)本校卒業生 (3)地域住民 (4)地元企業関係者 (5)高等学校関係者 (6)その他教育に関する有識者		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
サクラインターナショナル株式会社	2023.4.1～2025.3.31 (任期終了)	本校卒業生
株式会社オルガンソフト	2023.4.1～2025.3.31 (任期終了)	本校卒業生
株式会社シードアシスト 株式会社さくらインベスト	2023.4.1～2025.3.31 (任期終了)	本校卒業生

株式会社Mateli	2025.4.1～2027.3.31 (新規就任)	本校卒業生
吉岡印刷株式会社	2025.4.1～2027.3.31 (新規就任)	本校卒業生
陶芸家(陶器製造販売)	2025.4.1～2027.3.31 (新規就任)	本校卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.bisen.ac.jp/outline/reports/		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.bisen.ac.jp/
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H127310001067
学校名（〇〇大学 等）	大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人塚本学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		61人（0）人	61人（0）人	63人（0）人
内 訳	第Ⅰ区分	39人	40人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	19人	15人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	一人	一人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				63人（0）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	一人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	一人	0人	0人
計	一人	一人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	一人	0人	一人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	一人	一人	一人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	一人	0人	一人
計	一人	一人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。